



子どもたちへ

お話のプレゼント

創作童話

第3回

だれかがどこかで

原作 ペンネーム：けんちゃんパパ
(石畑在住)
絵 草野美奈子(箱根ヶ崎在住)



だれかがのはらでよんでいる
「ほかほかほかりん」
はるかぜさんがこんにちは
あおむしむっくりごあいさつ
「あったかくなりましたね」



だれかがうみでよんでいる
「ぎあーぎあーぎぶりん」
なつかぜさんがこんにちは
いるかがじゃんぶごあいさつ
「さあ、おようようよ」



だれかがおやまでよんでいる
「ひらひらひらりん」
あきかぜさんがこんにちは
どんぐりころりんごあいさつ
「いっしょにあそびましょ」



だれかがおにわでよんでいる
「はらりはらりどしん」
ふゆかぜさんがこんにちは
ゆきだるまがにっこりごあいさつ
「かぜひかないでね」



だれかがおうちでよんでいる
「ほかほかほかりん」
おとうさんこんにちは
おかあさんこんにちは
あったかだっこごあいさつ
「とつてもとつてもだいすきよ」
だれかがどこかでよんでいる
きつとどこかでよんでいる

創作童話募集

子どもたちに夢のお話をプレゼントしませんか。

瑞穂町に在住、在勤、在学の方ならどなたでも結構です。
(ペンネーム可)
字数は400字詰め原稿用紙1～2枚程度です。
ご興味のある方は議会事務局までご連絡ください。

編集後記

12月定例会の町政に対する一般質問は、16人、26件で過去最高となり、特に子どものいじめ問題に質疑が集中し、教育行政のあり方について厳しい追求が行われました。子どもは国・地域の次世代を担う宝です。私たち大人がしっかりと見守り続け、町からいじめをなくしましょう。

(小池信一郎)